

地域安全と交通安全について



佐々木 清美 議員

【質問】 地域安全と交通安全のために、踏切の保安施設の遮断機や警報機の無い踏切を利用する市民の安全をどう図るのか。

【市長】 日常生活に踏切の通行は不可欠であり、廃止には反対する旨、毎年、住民意向調査に基づく報告をするとともに、引き続き存続されるよう要望している。

【質問】 銀河の森運動公園等の外野フェンスの改修や排水対策等、スポーツ施設の整備管理をどう考えているか。

【市長】 今後、全市的な視点に立ったスポーツ施設整備計画を策定し、計画的に整備を進めていきたい。

【質問】 岩手県指定有形文化財である「鞍迫観音堂」前の沢に架かる木橋が腐朽し車両が通れない状況になっている。文化財の有事の際、問題があり橋の改修ができないか。

【市長】 橋の改修については、現地で語る会でも要望も受けているが、遠野七観音めぐりなどの観光と併せ、改修に当たっては災害対応ということも念頭におきながら地域の方々と協議して進めたい。

遠野ICの位置は検討中



松田 初 議員

【質問】 東北横断自動車道釜石秋田線の遠野宮守間が、測量、地盤調査に入ったがその進捗状況と今後の進め方は。

【市長】 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所が主体となって、9 km 区間約 12 億円で、道路の中心線測量等調査が実施されている。来年度以降の予定は予備設計に基づき用地範囲を示して、地権者の了解を得て作業の万全を期すこととなる。

【質問】 遠野 IC の場所はどこか。

【市長】 東北地方整備局において調査測量等を踏まえ、最も適切な位置を検討しているとのことである。

【質問】 完成時の市勢発展構想構築を。

【市長】 多様な人的交流や物的交流のネットワークを図り、観光振興、地場産業振興、産業誘致、新事業の創出など活発な遠野広域経済圏の形成を目指す。腰を据えた観光への取り組みが必要であることから、市観光協会と観光振興を進めることで取り組んでいく。

畜産振興対策について



菊池 充 議員

【質問】 広大な公共牧場をはじめ豊富な草資源や生産環境に恵まれた条件を生かし、今や総農業粗生産額の43%を占める基幹作目の畜産業の更なる振興策として最重要課題である畜産振興公社の業務再編と畜産農家支援策としてのキャトルセンター整備構想について伺う。

【市長】 畜産振興公社の業務を大きく分けると放牧業務と馬の里運営に二分される。現在、公社経営改革委員会で放牧部門と馬の里部門の分離協議が進行中であり、今年度中、3月議会までに馬事振興事業経営改革案を取りまとめることとしている。その中では畜産公社を今後の畜産振興施策の中核と位置づけ、改革を図る。キャトルセンターについては、現在検討されている施設であり、肉用牛生産の省力化、効率化には欠かせないものである。総合計画にも搭載されている畜産生産基盤強化事業によって調査計画事業を実施し、置かれている現状、想定される可能性、農家の意向を調査し具体的な将来像を見定めながら計画的に組織、基盤の再編を進めていく。

【市長】 畜産振興公社の業務を大きく分けると放牧業務と馬の里運営に二分される。現在、公社経営改革委員会で放牧部門と馬の里部門の分離協議が進行中であり、今年度中、3月議会までに馬事振興事業経営改革案を取りまとめることとしている。その中では畜産公社を今後の畜産振興施策の中核と位置づけ、改革を図る。キャトルセンターについては、現在検討されている施設であり、肉用牛生産の省力化、効率化には欠かせないものである。総合計画にも搭載されている畜産生産基盤強化事業によって調査計画事業を実施し、置かれている現状、想定される可能性、農家の意向を調査し具体的な将来像を見定めながら計画的に組織、基盤の再編を進めていく。

経営安定対策の経理一元化は



新田 勝見 議員

【質問】 米の価格が低迷しており、米農家は大きな不安を持っている。遠野米の将来について市長の考は。

【市長】 価格対策については品目横断的経営安定対策に加入することが第一である。大阪・津田物産からは「遠野の米は全量買う」という心強い声もいただいている。この太いパイプを活

かし米作りにつなげたい。

【質問】 品目横断的経営安定対策について経理の一元化がネックとなっている。その対策は。

【市長】 経理ソフトを活用し、農家の負担を軽減するためJAと検討中である。

【質問】 「結いの市」については、販路拡大につながり期待している。取り組み経過は。

【市長】 イオン盛岡南店オープンに際し、打診がありキーテナントとして出展の運びとなった。四季折々の新鮮野菜と農産加工品が中心であるがオープンしたばかりであることから売れ筋の品目を見極めたうえで今後更に検討していく。